

令和7年度 岩手県立宮古水産高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

～ 「安航第一」 Team宮水 ～

宮古水産高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」目標達成状況
時間外在校等時間が月80時間以上の者
・R6年度:0人(参考:R4年度:1人、R5年度:0人)
- ◆ 「情報を共有し、一体となって学校経営に取り組んでいる」と答えた教職員の割合
・R6年度:75.8%(参考: R4年度:46.9%、R5年度:78.9%)

【定性的現状】

- 教職員の意識
・多様な生徒への手厚い対応に時間的・精神的な負荷がかかる。
・時間外勤務をしている教職員が固定している。
- 管理職のマネジメント
・多忙化解消の観点から、慣例の見直しを軸とした業務改善を行っている。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 教職員一人当たりの平均時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとすることを目指します。
- 「情報を共有し、一体となって学校経営に取り組んでいる」と感じる教員の割合を8割以上とすることを目指します。

【目指す姿】

- ・教職員一人一人が、誇りと使命を感じながら業務に取り組んでいる。
- ・質の高い教育の持続的提供に資する業務改善を行っている。
- ・教職員が、家庭のための時間や自由時間を確保できている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none">・業務の効率化や見直しを進め、休暇を取得しやすい職場環境を作ります。・月の時間外在校等時間が月途中で40時間超となった教職員に対し、健康確保の観点から、管理職が声掛けを行います。
(2)	学校における業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none">・慣例を見直し、業務の精選、働き方の見直しを進めます。・職員会議は必要最低限の時間設定とし、可能な限り資料の紙配付は廃止します。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	<ul style="list-style-type: none">・働き方改革の取組について、保護者や地域の方に理解が進むようHP等で周知します。・教職員の仕事内容を整理し、保護者や外部機関に任せられる業務は積極的に任せます。
令和7年度 重点取組事項		<ul style="list-style-type: none">・令和7年度から新たに「業務改善提案フォルダ」を設け、教職員からの意見を積極的に取り込み、学校全体で業務改善に取り組む環境づくりを行います。

4 アクションプランの周知方法

- ・プランを学校のHPに掲載し、保護者や地域に周知するとともに、会議等を通じて教職員にも周知します。
- ・学校・地域魅力化推進委員会を通じて、地域・保護者に対してプランの内容の説明を行います。